



生物多様性
とくしま会議
市民部会

生物多様性とくしま会議・市民セミナー1

水辺の生物多様性を考える

～防災と生物多様性保全の視点から～

●日時：2013年12月19日（木） 18:30～20:30

●場所：徳島大学 工業会館（常三島キャンパス・工学部1番北の奥）

●主催：生物多様性とくしま会議 & 徳島大学環境防災研究センター

●資料代：500円（希望される方）

●問合せ先：090-7268-9448・088-623-6783（FAX 兼）

生物多様性とくしま会議では、徳島県の生物多様性保全と持続的な地域づくりを多くの市民と一緒に考えるために、生物多様性とくしま会議・市民セミナーを開催します。

第1回は、水辺の生物多様性について注目し、魚類など干潟や汽水域に棲む生物の視点も盛り込み、防災と生物多様性の保全や再生について考えたいと思います。

海岸や河川など、徳島には豊かな自然環境をもつ水辺があり、人の暮らしには密接な関わり方がありました。とくに、東日本大震災以降、水辺の防災の関心が高まっています。

地域の財産である自然環境や暮らしの特性にあわせて、防災という観点も加えて人の暮らしと環境の折り合いをどうつけていくのか、様々な立場の方からお話をいただき、海辺や河川など沿岸、水辺環境の管理のあり方をみなさんと一緒に考えてみましょう。どなたでも、お気軽にご参加ください。

●話題提供

①那賀川河口左岸の高潮堤防工事における環境保全への取組みについて

池添好巨さん（国土交通省四国地方整備局 那賀川河川事務所管理課 課長）

②汽水性ハゼ類から見た保全上重要な河川 ～徳島県の河川を中心に～

乾隆帝さん（ハゼのスペシャリスト・徳島大学大学院・ソシオテクノサイエンス研究部/
日本学術振興会・特別研究PD）

③『アザメの瀬』に学ぶ住民参加の川づくり

河口洋一さん（徳島大学大学院・ソシオテクノサイエンス研究部 准教授/川の生態学）

ヒメハゼ、エドハゼ、クボハゼ、千クゼンハゼ、アベハゼ、キセルハゼ、ヒモハゼ・・・
何種類の名前を知っていますか？

いろいろなハゼの生態からみえる川の環境や、川と住民の関わり方や、
川の新たな取り組みなど、今回まとまってきた。

師走のお忙しい時期ですが、お誘いあわせのうえ、ご参加ください。（トビハゼ）

■生物多様性とくしま会議は、市民団体、学識経験者、関係機関有志が連携し、情報や課題を共有し、立場の違いを尊重しながら、生物多様性保全のための責任ある行動をとっていきけるしくみを作ることを目標として設立されました。現在県内の多様な活動をする22の市民団体や学識経験者によって組織されています。

■生物多様性とくしま戦略に盛り込まれた市民宣言を实践するためには、市民一人一人が守り人として、行動をおこすことが重要です。生物多様性とくしま会議・市民部会は、市民目線で、徳島の生物多様性の価値や課題を見つめなおしたり、伝えたりしながら、それぞれが当事者として、みんな考えていく場づくりをしていきます。

